

## 編集後記

毎年この時期になると、ＪＲ常盤線の車内吊り広告に北茨城市の「あんこう」や相馬市松川浦の「ズワイガニ」が登場する。そういえば昨シーズンも浜通りの冬の味覚を逃してしまった。いっそゼミ合宿でも仕立てて、などという悪巧みも頭を過ぎる。

一方、豊作に加えて気温の高めの日が続いたこともあり、鍋物用需要の低迷でハクサイやダイコンが値崩れを起こしているという。茨城県では11月末までにハクサイ8800トン余りが緊急需給調整（産地廃棄）の対象となる。地球温暖化の影響なのか、それにしても生産農家には気の毒である。

11月初旬に発表されたＩＥＡ（国際エネルギー機関）の報告はショッキングなものであった。エネルギー消費に伴う中国の二酸化炭素排出量が、あと４年でアメリカを追い抜くという内容である。2001年にアメリカが抜け、中国はもともと削減義務を負っていない京都議定書の2013年以降の削減ルールはどうなるのか。今すぐに本気で地球益を考えなければならない。例え「30%クラブ」といわれようが、先進国側は削減努力を怠ってはならないのである。

（2006年11月 古井）